

農業技術センター普及指導部作物関係情報（臨時）

タイトル：台風6号接近に伴う水稻の被害対策

発信日：平成23年 7月19日

内 容

- ・現在発生している台風6号が接近し、気象庁の予報によると20日頃に関東地方に接近し通過することが予想されている。
- ・現在、県内の水稻は最高分けつ期～幼穂形成期であり、強風や大雨等による被害が懸念される。
- ・対策は次のとおり。なお、事故防止の観点から台風接近後におけるほ場の見回り等については、気象情報及び周囲の状況を十分確認し、大雨、強風が治まり、安全な状況となってから行うこと。

事前対策

- 1 排水路の詰まり等の点検・補修を行い、冠浸水時の速やかな排水に備えること。

被害対策

1 深水湛水

台風の襲来が予測される場合は、水田に水を深く張り、倒伏や急性萎凋を防ぐ。なお、風台風特に台風が北側を通過する場合は、潮風害（塩害）が出やすいため、台風通過後可能な場合は動噴等を利用し真水を散布し洗い流す。

2 排水対策

浸水・冠水した場合は、速やかに水田から排水し、新鮮な水で2～3回湛水・排水を繰り返す。排水時にゴミ等を極力早く取り除く。

3 病害対策

大雨によって水田が冠水した場合、白葉枯病の発生が心配されるので注意する。（さとじまんは特に注意する）